

# 令和5年度

## 全国学力・学習状況調査の結果について

成田市教育委員会

本年4月、文部科学省により、全国の小学校第6学年・義務教育学校前期課程第6学年、特別支援学校小学部第6学年、中学校第3学年、義務教育学校後期課程第3学年、中等教育学校前期課程第3学年、特別支援学校中学部第3学年の全児童生徒を対象に「全国学力・学習状況調査」が実施されました。

本市の調査実施校は小学校19校、中学校8校、義務教育学校2校の合計29校です。

### 小学校

- (1) 教科に関する調査
  - 国語科 ○算数科
- (2) 生活習慣や学習環境に関する調査
  - 児童質問紙

### 中学校

- (1) 教科に関する調査
  - 国語科 ○数学科 ○英語科
- (2) 生活習慣や学習環境に関する調査
  - 生徒質問紙

### 本市の校種・教科区分別平均正答率（％）

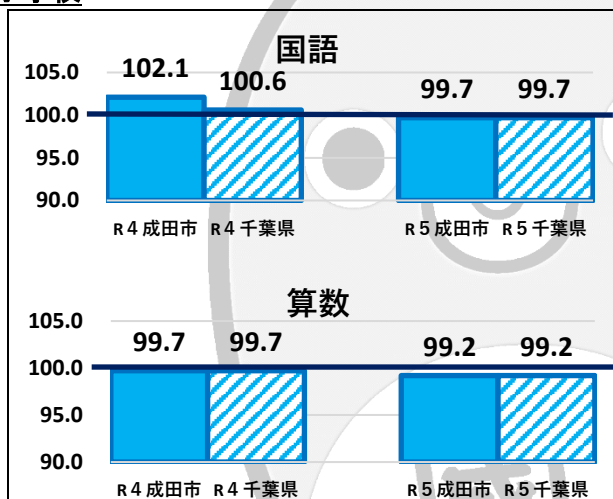
| 小学校 | 成田市 | 千葉県 | 全国   |
|-----|-----|-----|------|
| 国語  | 67  | 67  | 67.2 |
| 算数  | 62  | 62  | 62.5 |

| 中学校 | 成田市 | 千葉県 | 全国   |
|-----|-----|-----|------|
| 国語  | 69  | 69  | 69.8 |
| 数学  | 50  | 51  | 51.0 |
| 英語  | 48  | 46  | 45.6 |

※文部科学省の発表に基づき、全国平均正答率は小数第1位まで、千葉県及び成田市の平均正答率は小数点以下を四捨五入した結果を示しています。中学校英語は「話すこと」調査の結果を除きます。  
 ※中学校英語の調査は令和元年度に追加され、3年に1度程度の実施となっております。

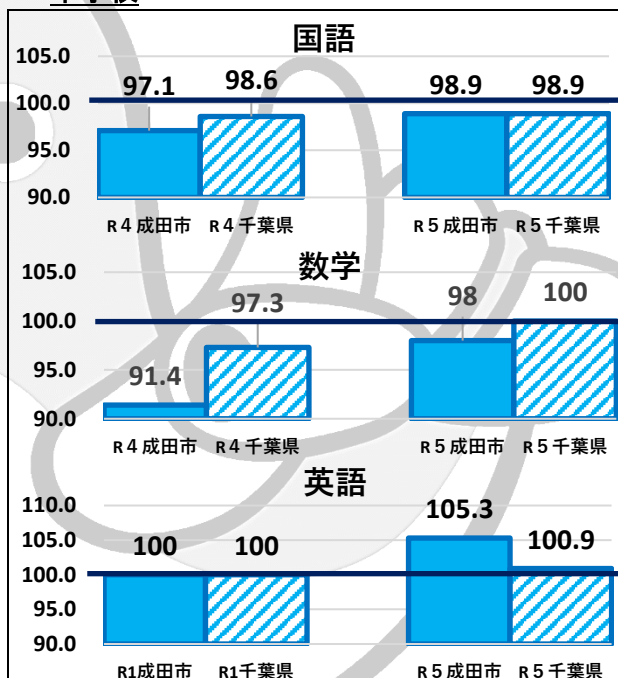
### 千葉県・全国平均との比較（全国平均を100とする）

#### 小学校



○国語においては、県・全国の平均とほぼ同等の結果ですが、昨年度より下降傾向にあります。  
 ○算数においては、県・全国平均とほぼ同等の結果となりました。

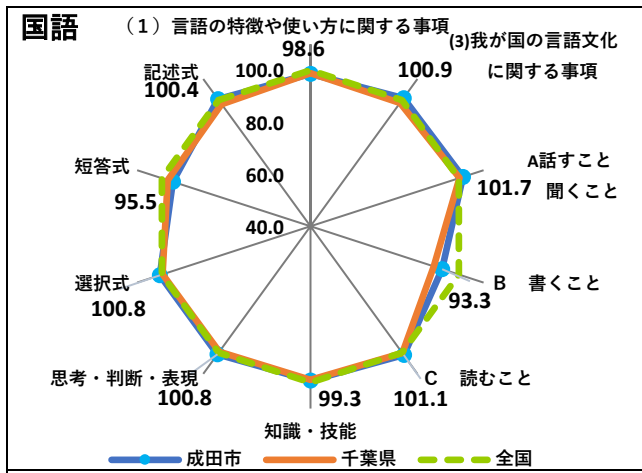
#### 中学校



○国語においては、全国平均を下回りましたが、昨年度よりも上昇しました。  
 ○数学においては、県・全国平均を下回りましたが、昨年度と比較するとその差が縮まりました。  
 ○英語においては、県・全国平均を大きく上回りました。

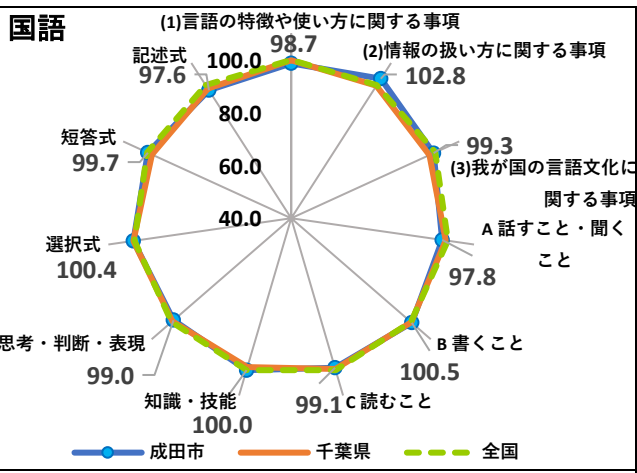
# 分野別平均正答率 (全国の正答率を100とする)

## 小学校

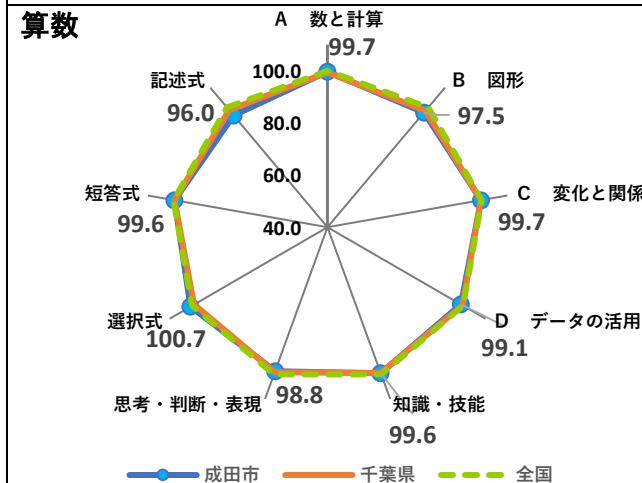


○概ね県・全国平均を上回りましたが、「書くこと」の問題で課題が見られました。

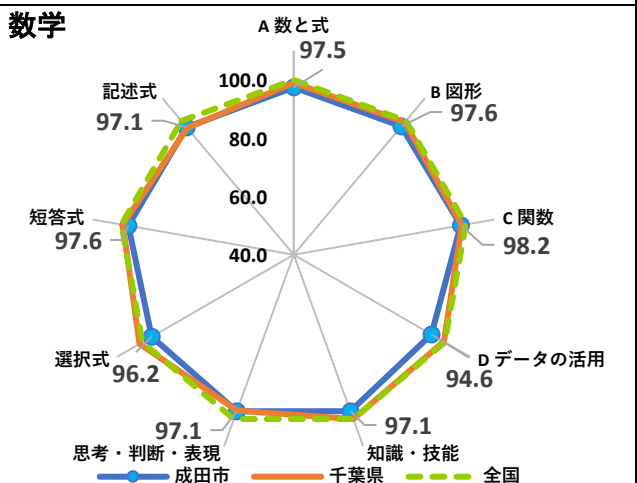
## 中学校



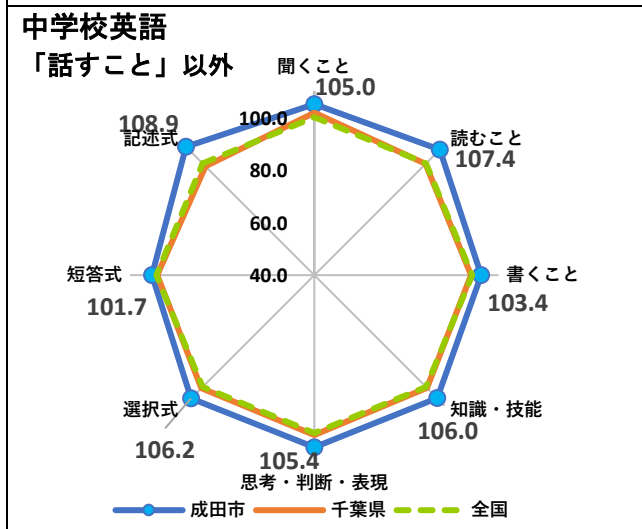
○概ね県・全国平均と同等の結果が得られました。「話すこと・聞くこと」の問題で課題が見られました。



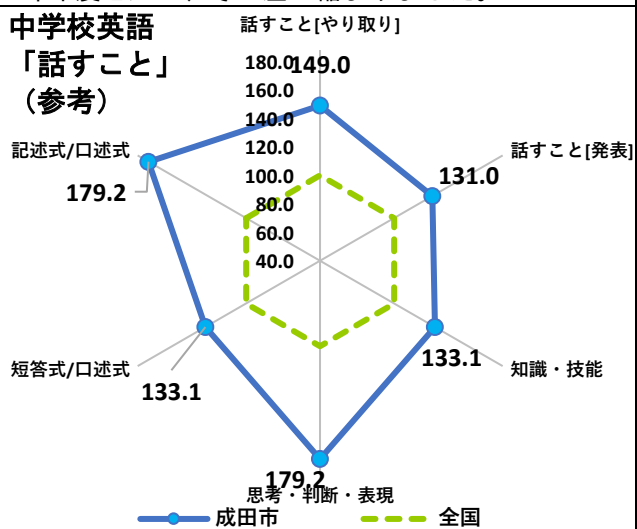
○領域別では、概ね県・全国平均を上回りましたが、「図形」の問題に課題が見られました。



○「数と式」「データの活用」に課題が見られました。全体的に県・全国平均を下回っているものの昨年度と比べ、その差が縮まりました。



○全ての項目で県・全国平均を上回りました。「聞くこと」「読むこと」と比較すると「書くこと」の領域に課題が見られました。

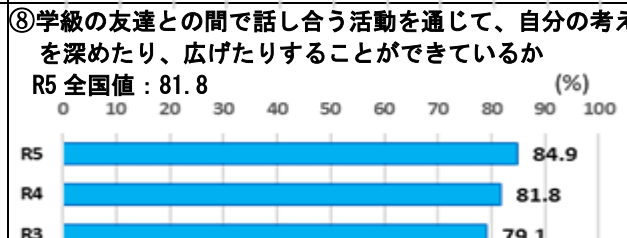
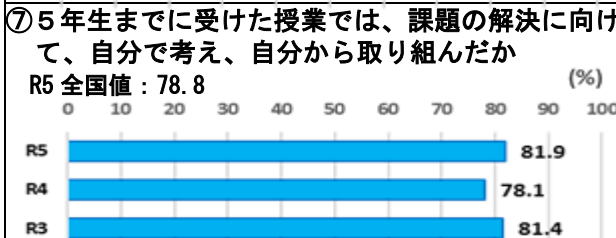
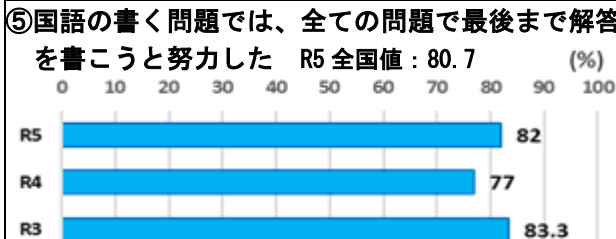
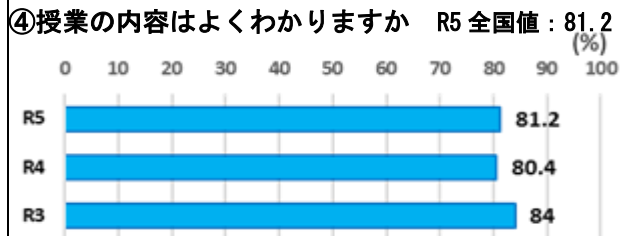
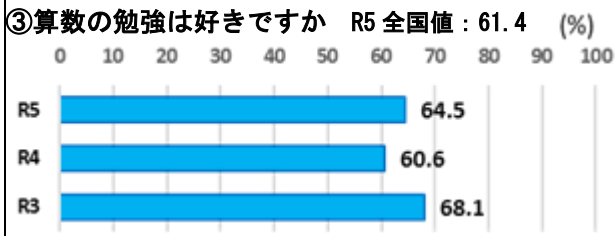
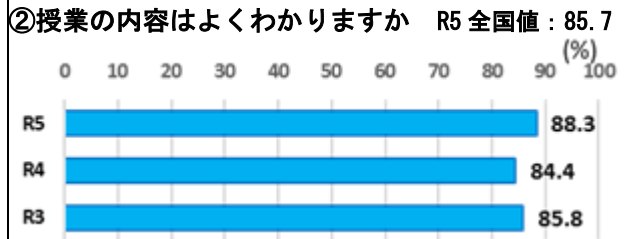
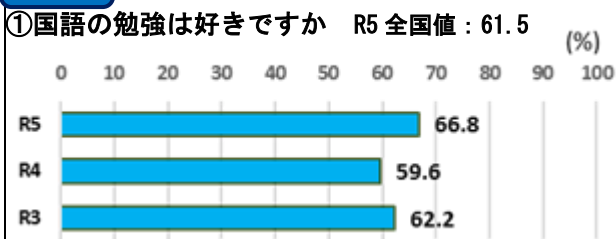


○「話すこと」の領域では、無回答率が低いという結果が出ました。疑問文における語順や一般動詞の使い方や、相手の意見に対する自分の考えとその理由を伝える表現に課題が見られました。

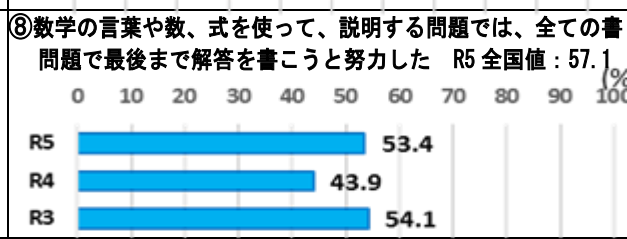
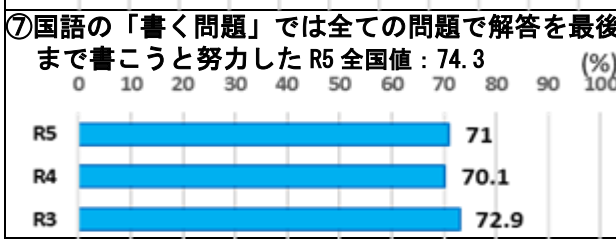
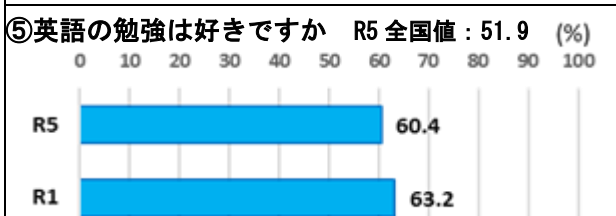
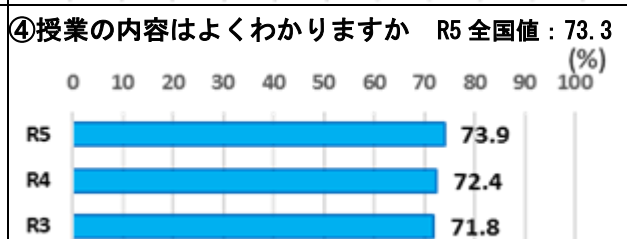
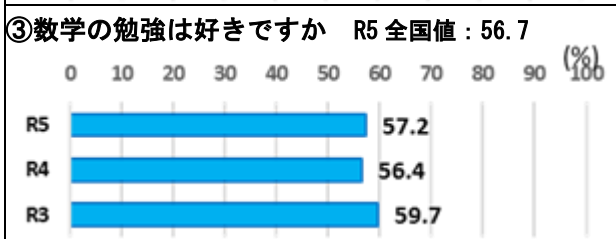
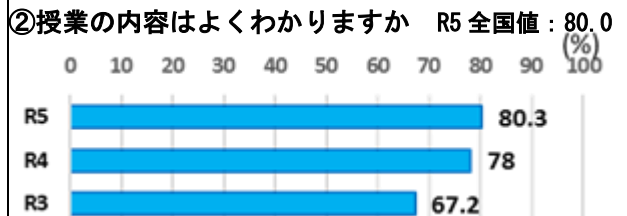
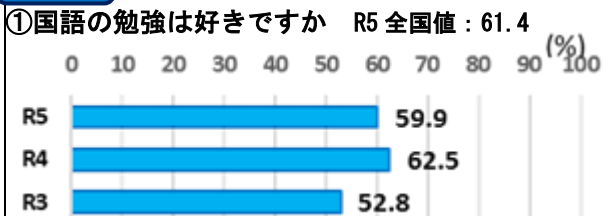
※中学校英語「話すこと」調査については県の正答率が公表されていないため記載しておりません。また全国の前正答率は推計値(当日実施校の調査結果499校、41,966人に統計的補正をかけた全国値として推定したものです)。本市の結果は4/18の当日のほか、4/19~5/26の期間内に実施した市内10校の中学校(義務教育学校)の平均正答率を示しており、母体数が異なるため、単純に比較することは適当ではなく、あくまで参考まで掲載しております。

小学校

全国・経年比較「児童・生徒質問紙編」



中学校



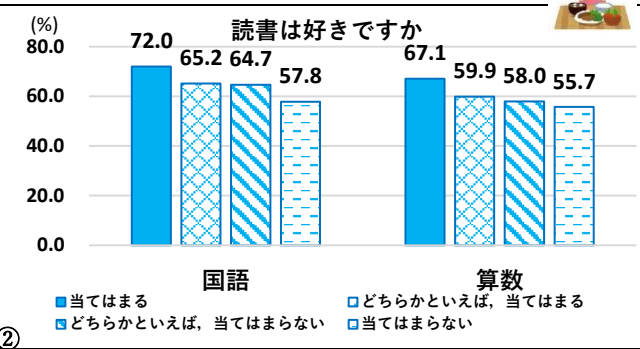
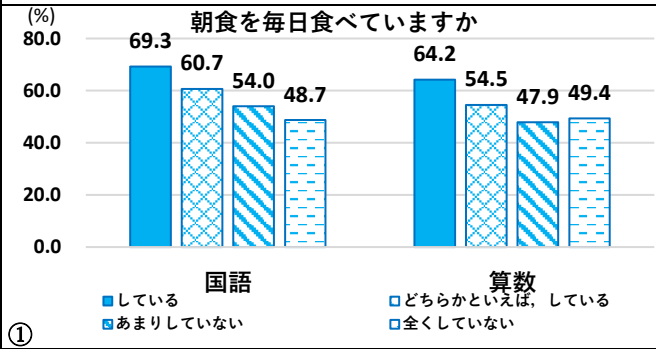
※回答は小学校⑤⑥中学校⑦⑧以外「当てはまる、どちらかと言えば当てはまる」を合算した値

# 小学校★生活を振り返ろう「学力と相関が見られた項目」

※グラフの縦軸は、平均正答率を表しています。



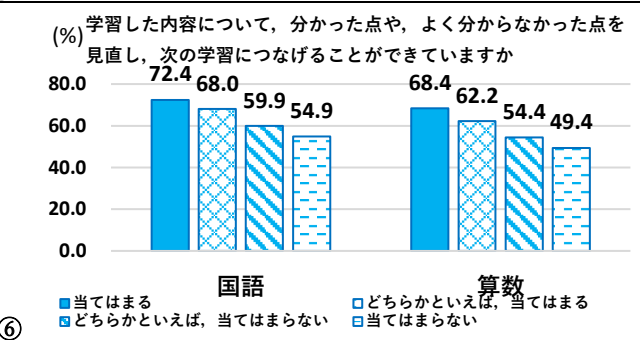
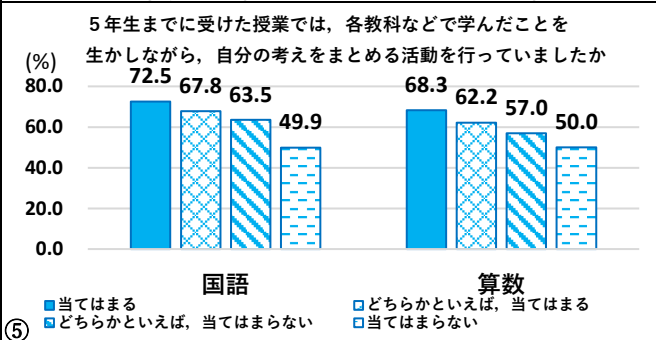
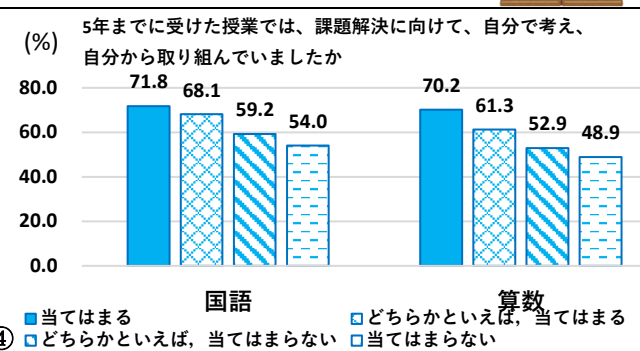
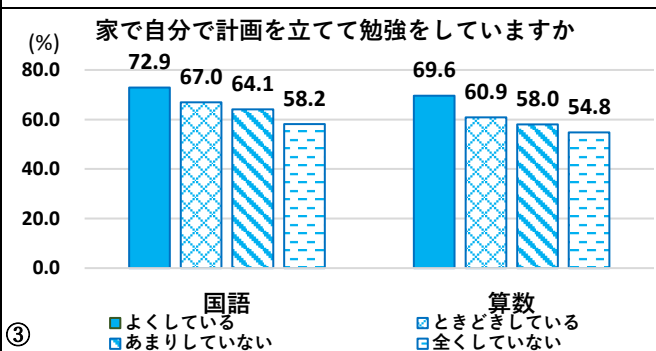
## 生活習慣・学習習慣に関する項目



規則正しい生活習慣や、読書の習慣が学力向上につながります。  
朝食を毎日食べている児童や、読書が好きな児童ほど正答率が高い傾向が見られました。

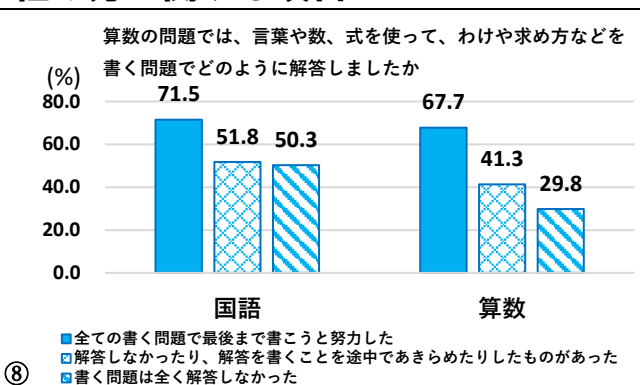
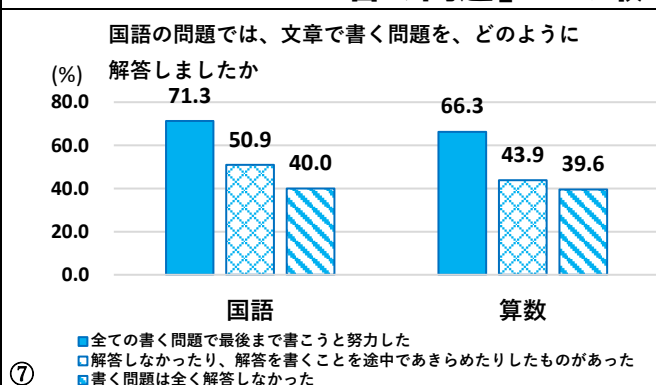


## 学習への取り組み方に関する項目



自分で考え、学んだことを生かす、見直しをする次の学習へつなげるサイクルが重要  
普段の授業の中でも、自分で考え、学んだことを生かしたり、見直したりして次の学習につなげている児童ほど、正答率が高い傾向が見られました。

## 「書く問題」への取り組み方に関する項目

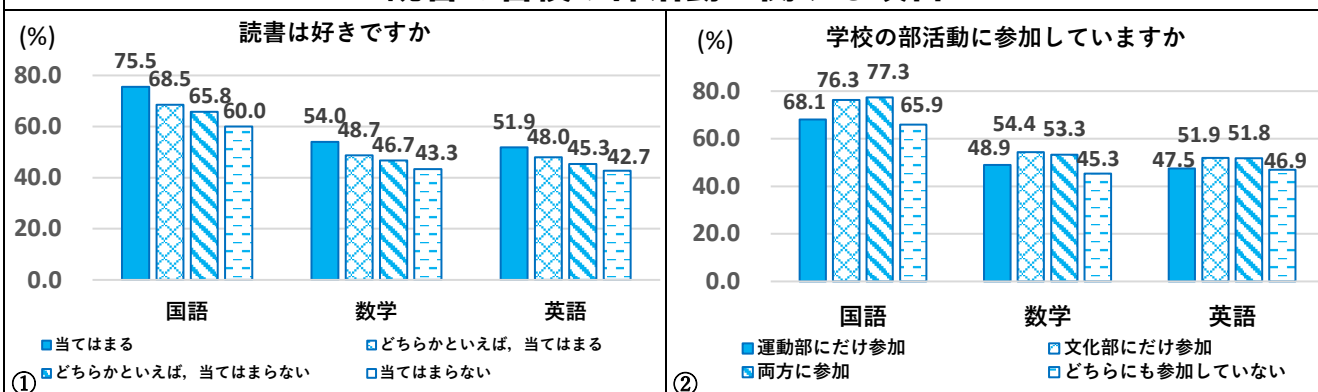


「書く力」を高めるために  
どの教科でも、わかったことを教科書にある言葉や自分の言葉を使って、友達に伝えたり、ノートに書いたりするところから始めてみましょう。

# 中学校★ 生活を振り返ろう「学力と相関が見られた項目」

※グラフの縦軸は、平均正答率を表しています。

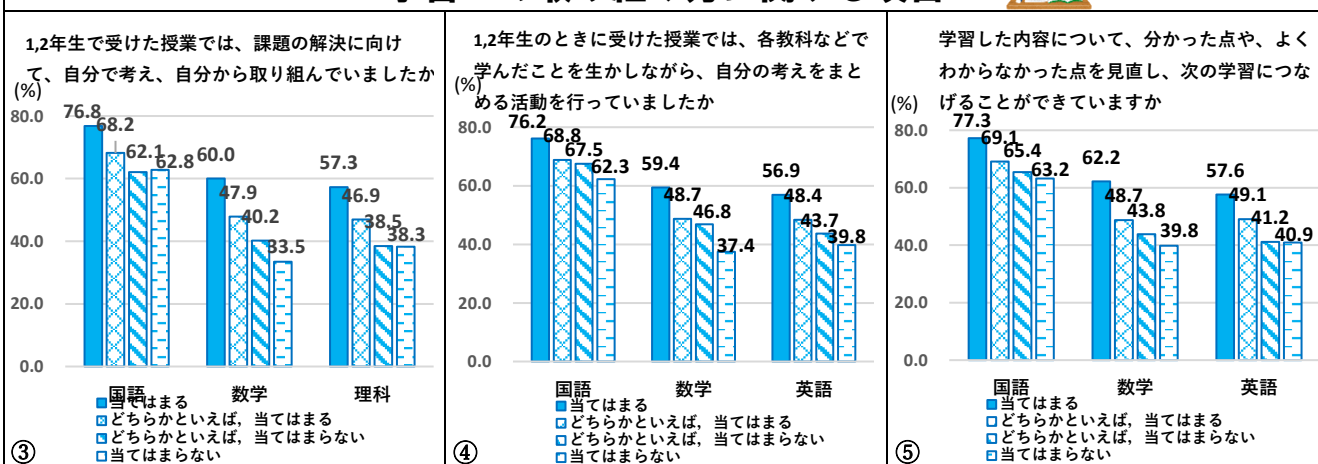
## 読書の習慣や部活動に関する項目



### 学習のほかに夢中になれるものを見つけよう！

読書が好きな生徒ほど高い正答率が得られました。特に国語科で顕著に現れています。また部活動など、学校の学習以外にも夢中になれるものがある方が、学力が高い傾向が見られました。

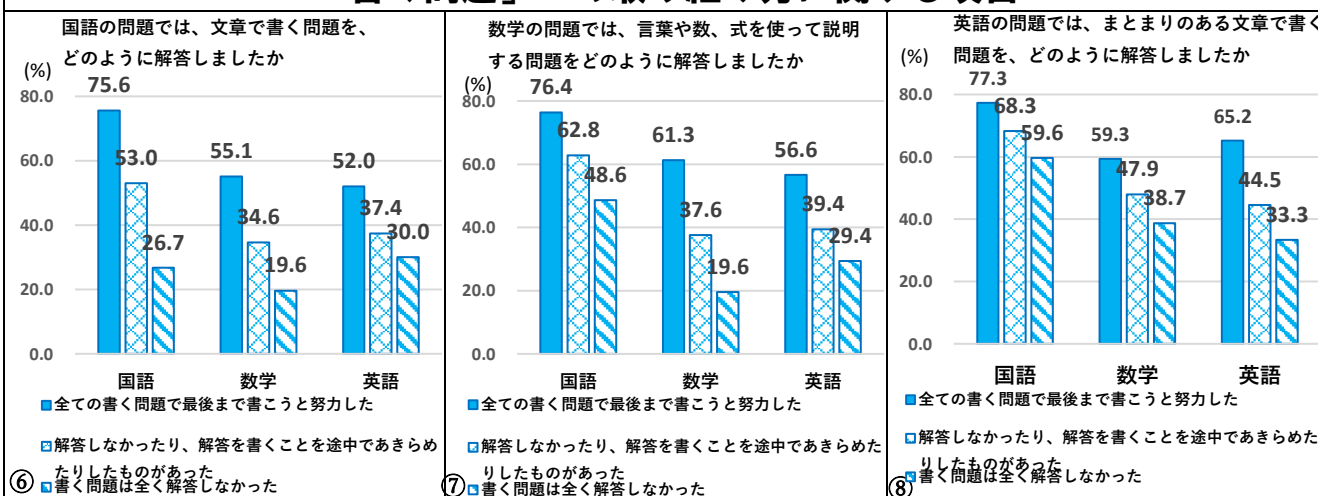
## 学習への取り組み方に関する項目



### 主体的に学習に取り組み、学習した内容をまとめたり見直したりして、次の学習につなげよう！

課題解決に向けて、自分で考え、主体的に取り組んだり、学習した内容をふり返って次の学習につなげている生徒ほど高い正答率が得られました。

## 「書く問題」への取り組み方に関する項目



### 「書く力」を高めるために

普段から、自分の言葉や、各教科の授業で学習した言葉を使って、わかったことや考えたことを友達に伝えたり、書いたりするところから始めてみましょう。

## 問題別傾向 小学校

| 結果が良好だったもの（平均正答率）  | 課題が見られたもの（平均正答率） |           |     |      |     |      |    |      |   |    |           |     |      |     |      |    |      |
|--|------------------|-----------|-----|------|-----|------|----|------|---|----|-----------|-----|------|-----|------|----|------|
| <p><b>国語「話すこと・聞くこと」</b><br/>目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができます。</p> <table border="1"> <tr><th>地域</th><th>平均正答率 (%)</th></tr> <tr><td>成田市</td><td>74.1</td></tr> <tr><td>千葉県</td><td>70.5</td></tr> <tr><td>全国</td><td>70.2</td></tr> </table> | 地域               | 平均正答率 (%) | 成田市 | 74.1 | 千葉県 | 70.5 | 全国 | 70.2 | <p><b>国語「書くこと」</b><br/>図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題が見られました。</p> <table border="1"> <tr><th>地域</th><th>平均正答率 (%)</th></tr> <tr><td>成田市</td><td>24.9</td></tr> <tr><td>千葉県</td><td>24.0</td></tr> <tr><td>全国</td><td>26.7</td></tr> </table>                | 地域 | 平均正答率 (%) | 成田市 | 24.9 | 千葉県 | 24.0 | 全国 | 26.7 |
| 地域   | 平均正答率 (%)        |           |     |      |     |      |    |      |   |    |           |     |      |     |      |    |      |
| 成田市  | 74.1             |           |     |      |     |      |    |      |   |    |           |     |      |     |      |    |      |
| 千葉県  | 70.5             |           |     |      |     |      |    |      |   |    |           |     |      |     |      |    |      |
| 全国   | 70.2             |           |     |      |     |      |    |      |   |    |           |     |      |     |      |    |      |
| 地域   | 平均正答率 (%)        |           |     |      |     |      |    |      |   |    |           |     |      |     |      |    |      |
| 成田市  | 24.9             |           |     |      |     |      |    |      |   |    |           |     |      |     |      |    |      |
| 千葉県  | 24.0             |           |     |      |     |      |    |      |   |    |           |     |      |     |      |    |      |
| 全国   | 26.7             |           |     |      |     |      |    |      |   |    |           |     |      |     |      |    |      |
| <p><b>算数「数と計算」</b><br/>一の位が0の二つの2位数について、乗法の計算をすることができます。</p> <table border="1"> <tr><th>地域</th><th>平均正答率 (%)</th></tr> <tr><td>成田市</td><td>82.4</td></tr> <tr><td>千葉県</td><td>79.3</td></tr> <tr><td>全国</td><td>80.8</td></tr> </table>                      | 地域               | 平均正答率 (%) | 成田市 | 82.4 | 千葉県 | 79.3 | 全国 | 80.8 | <p><b>算数「図形」</b><br/>高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することに課題が見られました。</p> <table border="1"> <tr><th>地域</th><th>平均正答率 (%)</th></tr> <tr><td>成田市</td><td>16.1</td></tr> <tr><td>千葉県</td><td>19.9</td></tr> <tr><td>全国</td><td>20.8</td></tr> </table> | 地域 | 平均正答率 (%) | 成田市 | 16.1 | 千葉県 | 19.9 | 全国 | 20.8 |
| 地域   | 平均正答率 (%)        |           |     |      |     |      |    |      |   |    |           |     |      |     |      |    |      |
| 成田市  | 82.4             |           |     |      |     |      |    |      |   |    |           |     |      |     |      |    |      |
| 千葉県  | 79.3             |           |     |      |     |      |    |      |   |    |           |     |      |     |      |    |      |
| 全国   | 80.8             |           |     |      |     |      |    |      |   |    |           |     |      |     |      |    |      |
| 地域   | 平均正答率 (%)        |           |     |      |     |      |    |      |   |    |           |     |      |     |      |    |      |
| 成田市  | 16.1             |           |     |      |     |      |    |      |   |    |           |     |      |     |      |    |      |
| 千葉県  | 19.9             |           |     |      |     |      |    |      |   |    |           |     |      |     |      |    |      |
| 全国   | 20.8             |           |     |      |     |      |    |      |   |    |           |     |      |     |      |    |      |



### ワンポイントアドバイス

#### 国 語

- 自分の考えをわかりやすく伝えるために、書き表し方を工夫しましょう。図表やグラフなどを使うと自分にとっても考えを深めやすく、相手にとってもよく理解できるものになります。また、様々な情報の中から必要な情報を選ぶ力もつけましょう。

#### 算 数

- 算数科の学習は、正しい解答を導き出す技能を磨くことも大切ですが、どのような見方・考え方をしたことで解答にたどり着いたのかを振り返ることが、他の場面でも自分の力として算数を活用する力を高めます。授業で出された様々な考え方に興味をもち、解き直したり、他の場合に当てはめてみたりする習慣を付けましょう。

# 問題別傾向 中学校

| 結果が良好だったもの (平均正答率)   | 課題が見られたもの (平均正答率) |           |     |      |     |      |    |      |   |    |           |     |      |     |      |    |      |
|--|-------------------|-----------|-----|------|-----|------|----|------|---|----|-----------|-----|------|-----|------|----|------|
| <p><b>国語「(2)情報の扱い方に関する事項」</b><br/>                     具体と抽象など情報と情報との関係について理解しています。</p> <table border="1"> <tr><th>地域</th><th>平均正答率 (%)</th></tr> <tr><td>成田市</td><td>64.3</td></tr> <tr><td>千葉県</td><td>62.1</td></tr> <tr><td>全国</td><td>61.8</td></tr> </table>         | 地域                | 平均正答率 (%) | 成田市 | 64.3 | 千葉県 | 62.1 | 全国 | 61.8 | <p><b>国語「話すこと・聞くこと」</b><br/>                     聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめることに課題が見られました。</p> <table border="1"> <tr><th>地域</th><th>平均正答率 (%)</th></tr> <tr><td>成田市</td><td>78.3</td></tr> <tr><td>千葉県</td><td>81.1</td></tr> <tr><td>全国</td><td>82.5</td></tr> </table>          | 地域 | 平均正答率 (%) | 成田市 | 78.3 | 千葉県 | 81.1 | 全国 | 82.5 |
| 地域   | 平均正答率 (%)         |           |     |      |     |      |    |      |   |    |           |     |      |     |      |    |      |
| 成田市  | 64.3              |           |     |      |     |      |    |      |   |    |           |     |      |     |      |    |      |
| 千葉県  | 62.1              |           |     |      |     |      |    |      |   |    |           |     |      |     |      |    |      |
| 全国   | 61.8              |           |     |      |     |      |    |      |   |    |           |     |      |     |      |    |      |
| 地域   | 平均正答率 (%)         |           |     |      |     |      |    |      |   |    |           |     |      |     |      |    |      |
| 成田市  | 78.3              |           |     |      |     |      |    |      |   |    |           |     |      |     |      |    |      |
| 千葉県  | 81.1              |           |     |      |     |      |    |      |   |    |           |     |      |     |      |    |      |
| 全国   | 82.5              |           |     |      |     |      |    |      |   |    |           |     |      |     |      |    |      |
| <p><b>数学「関数」</b><br/>                     事象を理想化・単純化することで表された直線のグラフを、事象に即して解釈することができます。</p> <table border="1"> <tr><th>地域</th><th>平均正答率 (%)</th></tr> <tr><td>成田市</td><td>62.9</td></tr> <tr><td>千葉県</td><td>62.3</td></tr> <tr><td>全国</td><td>61.7</td></tr> </table>     | 地域                | 平均正答率 (%) | 成田市 | 62.9 | 千葉県 | 62.3 | 全国 | 61.7 | <p><b>数学「数と式」</b><br/>                     目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することに課題が見られました。</p> <table border="1"> <tr><th>地域</th><th>平均正答率 (%)</th></tr> <tr><td>成田市</td><td>54.3</td></tr> <tr><td>千葉県</td><td>57.0</td></tr> <tr><td>全国</td><td>58.8</td></tr> </table> | 地域 | 平均正答率 (%) | 成田市 | 54.3 | 千葉県 | 57.0 | 全国 | 58.8 |
| 地域   | 平均正答率 (%)         |           |     |      |     |      |    |      |   |    |           |     |      |     |      |    |      |
| 成田市  | 62.9              |           |     |      |     |      |    |      |   |    |           |     |      |     |      |    |      |
| 千葉県  | 62.3              |           |     |      |     |      |    |      |   |    |           |     |      |     |      |    |      |
| 全国   | 61.7              |           |     |      |     |      |    |      |   |    |           |     |      |     |      |    |      |
| 地域   | 平均正答率 (%)         |           |     |      |     |      |    |      |   |    |           |     |      |     |      |    |      |
| 成田市  | 54.3              |           |     |      |     |      |    |      |   |    |           |     |      |     |      |    |      |
| 千葉県  | 57.0              |           |     |      |     |      |    |      |   |    |           |     |      |     |      |    |      |
| 全国   | 58.8              |           |     |      |     |      |    |      |   |    |           |     |      |     |      |    |      |
| <p><b>英語「聞くこと」</b><br/>                     日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ることができます。</p> <table border="1"> <tr><th>地域</th><th>平均正答率 (%)</th></tr> <tr><td>成田市</td><td>49.0</td></tr> <tr><td>千葉県</td><td>42.2</td></tr> <tr><td>全国</td><td>41.2</td></tr> </table> | 地域                | 平均正答率 (%) | 成田市 | 49.0 | 千葉県 | 42.2 | 全国 | 41.2 | <p><b>英語「読むこと」</b><br/>                     社会的な話題について、短い文章の要点を捉えることに課題が見られました。</p> <table border="1"> <tr><th>地域</th><th>平均正答率 (%)</th></tr> <tr><td>成田市</td><td>53.4</td></tr> <tr><td>千葉県</td><td>55.5</td></tr> <tr><td>全国</td><td>56.1</td></tr> </table>                    | 地域 | 平均正答率 (%) | 成田市 | 53.4 | 千葉県 | 55.5 | 全国 | 56.1 |
| 地域   | 平均正答率 (%)         |           |     |      |     |      |    |      |   |    |           |     |      |     |      |    |      |
| 成田市  | 49.0              |           |     |      |     |      |    |      |   |    |           |     |      |     |      |    |      |
| 千葉県  | 42.2              |           |     |      |     |      |    |      |   |    |           |     |      |     |      |    |      |
| 全国   | 41.2              |           |     |      |     |      |    |      |   |    |           |     |      |     |      |    |      |
| 地域   | 平均正答率 (%)         |           |     |      |     |      |    |      |   |    |           |     |      |     |      |    |      |
| 成田市  | 53.4              |           |     |      |     |      |    |      |   |    |           |     |      |     |      |    |      |
| 千葉県  | 55.5              |           |     |      |     |      |    |      |   |    |           |     |      |     |      |    |      |
| 全国   | 56.1              |           |     |      |     |      |    |      |   |    |           |     |      |     |      |    |      |



## ワンポイントアドバイス

### 国 語

○聞き取った内容から、自分の考えを書くことは生活の中でも重要な力です。日頃から様々な情報を見聞きし、それについて意見をもったり、家族や友達と考えや意見を交流したりすることを心がけましょう。

### 数 学

○数量の関係を、文字を用いた式で表すだけでなく、式の意味の読み取りや、式の変形による他の場面での活用など、式で表すよさを実感し、方法を考察し表現することも大切です。

### 英 語

○意見文の要点を捉えるためには、文章全体から書き手が最も伝えたいことを判断することが大切です。繰り返されている言葉や問いかけ、接続語などに注目しながら読んでみましょう。

# 国語科 ここに気を付けよう！

## 小学校国語 課題が見られた問題「書くこと」

情報を選んで、自分の考えが伝わるように書こう！

### 【川村さんの文章】

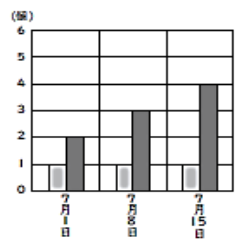
学校の田んぼで取り組んだ米作りの問題点とその解決方法

今年の米作りでは、たくさんのお米をしょうかくすることができました。しょうかくまでに、いくつかの問題がありました。その中でも特に伝えたい問題点とその解決方法について説明します。

5月下旬に学校の田んぼになえを植えました。6月の終わりまで、週に1回、グループの3人で雑草取りを続けたのですが、ア い が いに雑草が生えてきて、とてもこまりました。そこで、雑草の量について、農家の田んぼとイ く ら べ て み ま し た。 ウ き か んは7月1日から15日までです。

右のグラフは、その結果をもとにして作ったものです。

農家の田んぼと学校の田んぼの雑草の量



10㎡あたりの雑草を取って同じ大きさのバケツに入れ、その個数を雑草の量とする。

このようなことに取り組み、9月の下旬にお米をしょうかくすることができました。

二 川村さんは、選んだカードをもとに、次の「川村さんの文章」の... 問題点とその解決方法について書こうとしています。あなたが川村さんなら、... 学校での米作りの... に入る内容を

### 【カード①】

6月24日  
・思ったより学校の田んぼに雑草が生えてきた。  
・このまま雑草が増えたら米のしょうかくにえいしょうするのではないかと心配だ。

### 【カード②】

6月30日  
・雑草取りをしているが、農家の田んぼには見られないほど、雑草の量が増えてきた。どれくらい増えているのか雑草の量を調べる。  
・調査方法 週に1回、農家の田んぼと学校の田んぼの雑草を取って、量をくらべる。  
・調査さかん 7月1日～15日

### 【カード③】

7月19日  
・学校の田んぼでは、雑草の量に対して雑草取りが追いついていないと考えられる。  
・雑草の量と米のしょうかくの関係について農家の石山さんに話を聞きに行く。

### 【カード④】

7月20日  
[農家の石山さんのお話]  
・雑草に栄養をとられると、米のしょうかくが減る。  
・雑草が多いと、いねが病気になることがある。  
・農家は、さまざまな方法で雑草が生えないようにしている。

### 【カード⑤】

7月21日  
[学校でできる解決方法]  
・雑草取りの回数を増やす。  
・雑草取りの人数を増やす。

川村さんは、学校の田んぼで取り組んだ米作りについて文章を書こうとしています。次は、「川村さんの考え」と川村さんが選んだ「カード①」から「カード⑤」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

### 【川村さんの考え】



国立教育政策研究所「令和5年度全国学力・学習状況調査の調査問題・正答例・解説資料について」より引用、以下同じ

成田市で多かった誤答例 反応率 19.9%

### ポイント

成田市では、この設問の正答率が全国平均に比べ低い傾向が見られました。誤答を分析すると、条件の読み取りに課題が見られました。

情報と情報との関係を捉えたり、グラフなどを用いたりして自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫しましょう。

また、様々な情報の中から目的に応じて必要な情報を選んだり、伝えたいことを明確にして文章の構成を考えたりすることが大切です。

条件一つ目の【カード④】からわかること、条件二つ目の【カード⑤】をもとにした問題点の解決方法については書かれているが、条件一つ目の【川村さんの文章】のグラフからわかることが書かれていない。

※条件三つ目を満たしているかどうかは不問とする。

【誤答例】「学校の米作りの問題点は、雑草に栄養をとられて米のしょうかくが減ってしまうことでした。そこで、雑草取りの回数も人数も増やすことにしました。」(68字)

【正答例】「グラフから分かるように、学校の田んぼでは雑草が増え続けていたため、雑草に栄養をとられてしょうかくが減ってしまうかもしれないという問題点がありました。そこで、雑草取りの回数と人数を増やすことにしました。」(100字)

(条件)

- 学校の米作りの問題点については、「川村さんの文章」のグラフ(農家の田んぼと学校の田んぼの雑草の量)と「カード④」のそれぞれから分かることを書くこと。
- 問題点の解決方法については、「カード⑤」をもとにして書くこと。
- 六十字以上、百字以内にまとめて書くこと。



# 中学校国語 課題が見られた問題 「読むこと」

## 表現の効果について、根拠を明確にして考える！

成田市で多かった誤答例  
反応率 17.1%  
無解答率 22.7%

**〔誤答例〕**・「手なれた仕事だ。」など、〈原文〉にはないことを書いています。  
↓表現の一部を取り上げてはいるが、どのような工夫かを書けていない。  
・具体的に書いて、読者が想像しやすいようにしている。  
↓表現の一部を取り上げることができない。  
**〔正答例〕**・「手なれた仕事だ。」と付け加えることで、竹を割る翁の様子を読者が想像できるようにしている。

### ポイント

成田市では、この設問の正答率が全国平均に比べ低い傾向が見られ、無解答も多くありました。「竹取物語」の現代語訳について、どのような工夫が見られるか。具体的に表現の一部を取り挙げながら、自分の考えを述べるのが求められています。【授業で読んだ「竹取物語」の一部】〈現代語訳〉と【学校図書館で見付けた「竹取物語」の一部】を読み比べ、【授業で読んだ～】にない表現が【学校図書館で見付けた】星新一氏の現代語訳にはあります。その部分に星氏の工夫を見出すことができます。具体的には、〈原文〉に「よろずのこと」とある竹の使い道を「笠、竿、策、籠、筆、…」とより具体的に表現していたり、「翁」の仕事ぶりを「手なれた仕事だ。」と付け加えたりすることで、「翁」の人物像がぐっと鮮明になっています。それに着目し、星氏の加えた表現を根拠として取り上げ、それらの表現がどのような効果をもたらすと考えるかを述べるのがポイントとなります。

古典の現代語訳にもいろいろなものがあります。原文を豊かに現代語訳した中学生にも手に取りやすい作品が多くあります。学校図書館等を活用し、そういった多様な表現に触れることで表現力を培い、その効果を読み味わう機会をもてるとよいでしょう。

三  
【学校図書館で見付けた「竹取物語」の一部】は、古典の作品である「竹取物語」に、作家の星新一が工夫を加えて現代語で書いたものです。どこがどのように工夫されていると考えられますか。【授業で読んだ「竹取物語」の一部】や【学校図書館で見付けた「竹取物語」の一部】の表現を取り上げて、あなたの考えを書きなさい。  
なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

〔原文〕  
今は昔、竹取の翁といふものありけり。野山にまじりて竹を取りつつ、よろずのことに使ひけり。名をば、さぬきの造となむいひける。その竹の中に、もと光る竹なむ一筋ありける。あやしがりて、寄りて見るに、筒の中光りたり。それを見れば、三寸ばかりなる人、いとつくしうてあたり。

〔現代語訳〕  
今ではもう昔のことだが、竹取の翁という者がいた。野や山に分け入って竹を取っては、いろいろなことに使っていた。名前を、さぬきのみやつこといった。その竹の中に、根もとの光る竹が一本あった。不思議に思って、近寄って見ると、筒の中が光っている。それを見ると、三寸ほどの人が、とてもかわいらしい様子で座っている。

〔星新一「竹取物語」による。〕

4  
石井さんは、国語の時間に、「竹取物語」を読みました。そのあと、学校図書館で、現代語で書かれた「竹取物語」を見付け、読み比べてみました。次は、【授業で読んだ「竹取物語」の一部】の〈原文〉とその〔現代語訳〕、【学校図書館で見付けた「竹取物語」の一部】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。  
〔授業で読んだ「竹取物語」の一部〕  
〔学校図書館で見付けた「竹取物語」の一部〕

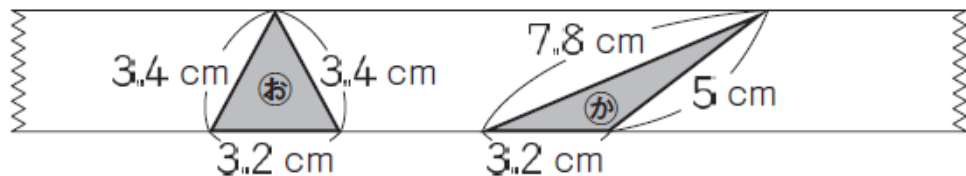
## 算数・数学科 ここに気を付けよう！

### 小学校算数 課題が見られた問題「図形」

高さの数値が分からない！→幅は同じだから…

2

- (4) えいたさんたちは、テープを直線で切って、下のような㊸と㊹の2つの三角形をつくります。



上の㊸と㊹の三角形の面積について、どのようなことがわかりますか。下の 1 から 4 までの中から 1 つ選んで、その番号を書きましょう。また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

- 1 ㊸の面積のほうが大きい。
- 2 ㊹の面積のほうが大きい。
- 3 ㊸と㊹の面積は等しい。
- 4 ㊸と㊹の面積は、このままでは比べることができない。

成田市で多かった誤答例  
反応率 15.7%

(誤答例) 4 を選択 (わけ) 高さの具体的な数値がわからないから比べられない

(正答例) 3 を選択 (わけ) 三角形の面積は、底辺×高さ÷2で求めることができます。㊸と㊹の底辺は、どちらも 3.2 cm なので等しいです。㊸と㊹の高さは、テープのはばがどこも同じ長さなので等しいです。だから、㊸と㊹の面積は等しいです。

### ポイント

成田市では、この設問の正答率が県平均・全国平均に比べ、特に低い傾向が見られました。この問題は、「テープの上の直線と下の直線が平行で、幅はどこも等しい」と記載されています。このことから『高さは等しくなるな』

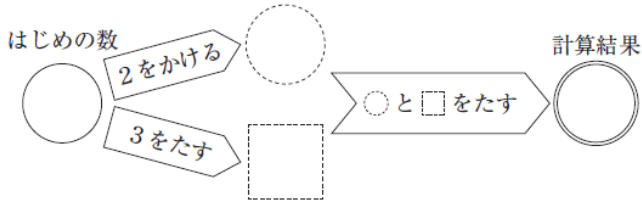
『どこも等しいなら例えば 3 cm だったらどうなるかな』

のように、必要な情報を主体的に見出す力、適当な数値を当てはめて考える力が求められています。特に図形は「構成要素に着目する」ことが大切です。基本図形の求め方を公式として覚えるだけでなく、その過程での表現方法（切って移動してみる、倍にしてみる、分けてみる等）をふり返ったり、面積を知っている形に変形して求めるという「考え方」を大切にして復習しましょう。

式が成り立つ過程も大切！

6 次の図1のように、はじめの数として○に整数を入れて計算し、計算結果を求めます。

図1

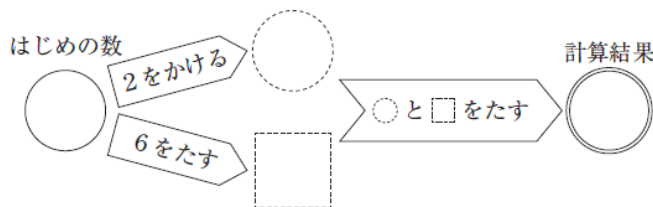


説明1

はじめの数として入れる整数を  $n$  とすると、はじめの数に2をかけた数は  $n \times 2$ 、3をたした数は  $n + 3$  と表される。計算結果は、  
 $n \times 2 + (n + 3)$   
 $= 2n + n + 3$   
 $= 3n + 3$   
 $= 3(n + 1)$   
 $n + 1$  は整数だから、 $3(n + 1)$  は3の倍数である。したがって、はじめの数としてどんな整数を入れても、計算結果はいつでも3の倍数である。

(2) の問題

図1 説明1のような学習をした上での「だったらこれも成り立つのでは」というのが問い



そして、はじめの数として2、5、-4を入れ、計算結果が3の倍数になるか調べました。

|       |    |                      |
|-------|----|----------------------|
| 2のとき  | 12 | $12 = 3 \times 4$    |
| 5のとき  | 21 | $21 = 3 \times 7$    |
| -4のとき | -6 | $-6 = 3 \times (-2)$ |

調べたことから、夏希さんは、はじめの数としてどんな整数を入れても「はじめの数にける数が2、たす数が6ならば、計算結果はいつでも3の倍数になる」と予想しました。

この予想が成り立つことを説明します。下の説明2を完成しなさい。

説明2

はじめの数として入れる整数を  $n$  とすると、はじめの数に2をかけた数は  $n \times 2$ 、6をたした数は  $n + 6$  と表される。計算結果は、

$$n \times 2 + (n + 6)$$

$$=$$

成田市で多かった誤答例  
反応率 12.6%

(誤答例)  $3 \times \square$  の  $\square$  に  $(n + 2)$  以外の文字を用いた多項式又は単項式を入れて記述しているもの

(正答例)  
 <  $3(n + 2)$  と計算している場合 >  
 $n + 2$  は整数だから、 $3(n + 2)$  は3の倍数である。したがって、はじめの数にける数が2、たす数が6ならば、計算結果はいつでも3の倍数である。

<  $3n + 6$  と計算している場合 >  
 $3n$ 、6が3の倍数で、3の倍数の和は3の倍数だから、 $3n + 6$  は3の倍数である。

ポイント

「3をたす」部分を「6をたす」にしても同様のことが成り立つのでは？という学習の様子が問いとなっていました。ある事柄が成り立つ結果（公式など）だけではなく、成り立つことの説明を理解し、他の場合を確かめたり、新たに成り立ちそうな事柄を予想したりすることが、文字を用いた式を活用するための資質・能力を育む大切なポイントとなります。「式を立てる」他に、「式を読み取る」学習も積極的に取り入れましょう。

# 英語 ここに気を付けよう！

## 課題が見られた問題「書くこと」

日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書こう。

- 10 あなたの学校では、学校の英語版ウェブサイトを開いています。あなたは、そのサイトに学校紹介文を掲載することになりました。学校生活（行事や部活動など）の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それについて説明するまとまりのある文章を25語以上の英語で書きなさい。  
※ 短縮形（I'mやdon'tなど）は1語と数え、符号（,や?など）は語数に含めません。

(例) No, I'm not. 【3語】

成田市で多かった  
誤答例  
反応率 16.6%

(誤答例) I'm in the basketball team. I practice very hard. But I was fun. We have to win the next game. Basketball is interesting.

「学校生活の中から一つ取り上げ、それについて説明する」というコミュニケーション上の目的を捉えていない解答になっている。学校を紹介するという目的では、主語は、自分ではなく Our school か We となる。

(正答例) Our school has a school festival in October. In the festival, we have a chorus contest and we practice hard to win the gold prize. Many people come to listen to our songs.

### ポイント

コミュニケーションを行う目的は何かを考え、それを捉えた上で書く内容や構成を考えましょう。目的によって主語は変わってきます。そのあたりも意識して書くとういでしょう。

## 課題が見られた問題「話すこと」

### 即興で伝え合うとともに、考えとその理由を述べあおう

大問1 あなたは、オーストラリアからの留学生ソフィアのために動物園へ行く予定を立てました。今日がその当日です。会話が続いていくように、質問に答えたり、あなたの考えを伝えたりしましょう。指示がある場合は、その指示に従って答えましょう。問題は(1)から(4)まであります。解答時間は(1)から(3)が7秒、(4)が20秒です。それでは、始めます。



成田市で多かった誤答例  
反応率 41.9%

(3) Look! Kangaroos! They are really famous in my country, Australia. I know a lot about them. Do you have any questions about kangaroos? Please ask me.

(解答時間7秒)

(誤答例) What food kangaroo eat? What they do eating? など、助動詞の脱落や語順の誤りが見られる。

(正答例) What food do they eat? What food do kangaroos eat?

### ポイント

疑問文を実際のコミュニケーションにおいて正しく使うようになるまでには時間を要します。疑問文を用いて話したり書いたりすることを継続的に行うことが大切です。先生やALT、友達と質問し合う場面の中で、正確さを高めていきましょう。